

# 平成26年度一般会計決算の特徴

＜歳入＞ ※( )は対前年度比

## ◎ 歳入総額は、3年連続で増加

- 県税(+197億円)、地方消費税清算金(+245億円)、県債(+310億円)などの増により、3年連続で増加

歳入総額 1兆7,586億円(+850億円、+5.1%)

[H25]1兆6,736億円 [H24]1兆6,675億円 [H23]1兆6,633億円

## ◎ 県税収入は、3年連続で増加

- 企業収益の改善による法人二税(法人県民税及び法人事業税)の増収、税率引上げによる地方消費税の増収などにより、3年連続で増加

県税 6,871億円(+197億円、+2.9%)

※歳入総額に占める割合 39.1%(△0.8ポイント)

[H25]6,674億円 [H24]6,541億円 [H23]6,344億円 [H22]6,408億円

- 納税率は96.1%(+0.7ポイント)で、4年連続の上昇
- 収入未済額は250億円(△33億円)で、4年連続で圧縮

## ◎ 県債発行額は、2年ぶりに増加

県で発行をコントロールできる県債の残高は12年連続で減少

### 【県債発行額】

- 第三セクター等改革推進債(316億円)の発行などにより、2年ぶりに増加

県債 3,302億円(+310億円、+10.4%)

※歳入総額に占める割合 18.8%(+0.9ポイント)

[H25]2,992億円 [H24]3,037億円 [H23]2,930億円 [H22]3,230億円

### 【26年度末残高】

- 県で発行をコントロールできる県債(臨時財政対策債・減収補填債を除いたもの)の残高は、前年度に比べ減少(平成15年度末に減少に転じて以降、12年連続減)

残高全体 3兆7,783億円(+1,166億円)

うち県で発行をコントロールできる分 2兆1,968億円(△305億円)

[H25]2兆2,273億円 … [H15]2兆5,778億円 [H14]2兆5,865億円

＜歳出＞ ※( )は対前年度比

### ◎ 歳出総額は、3年連続で増加

- 総務費や民生費などの増により、3年連続で増加

歳出総額 1兆7,470億円(+801億円、+4.8%)

[H25]1兆6,669億円 [H24]1兆6,605億円 [H23]1兆6,560億円

### ◎ 総務費は、埼玉高速鉄道(株)の経営再構築への支援等により増加

- 埼玉高速鉄道株式会社の金融機関からの借入金に対する損失補償を履行

総務費 1,129億円(+330億円、+41.3%)

※歳出総額に占める割合 6.5%(+1.7ポイント)

### ◎ 民生費は、医療、介護、子育てに関する支出の増等により増加

- 国からの交付金の増加に伴い、安心こども基金への積立金が増加

[H25]20億円→[H26]123億円(+103億円)

- 保育所や認定こども園の施設整備に対する助成等が増加

[H25]43億円→[H26]92億円(+49億円)

- 国民健康保険事業、後期高齢者医療対策事業及び介護保険給付事業に対する  
県負担金等が増加

[H25]1,532億円→[H26]1,625億円(+94億円)

民生費 3,099億円(+267億円、+9.4%)

※歳出総額に占める割合 17.7%(+0.7ポイント)

### ◎ 人件費は、給与の特例減額の終了等により増加

- 地方交付税等の削減に伴う財政状況に対応するための減額(平成25年7月から平成26年3月まで)が終了

人件費 6,130億円(+202億円、+3.4%)

※歳出総額に占める割合 35.1%(△0.4ポイント)